

平成24年行政事業レビューシート

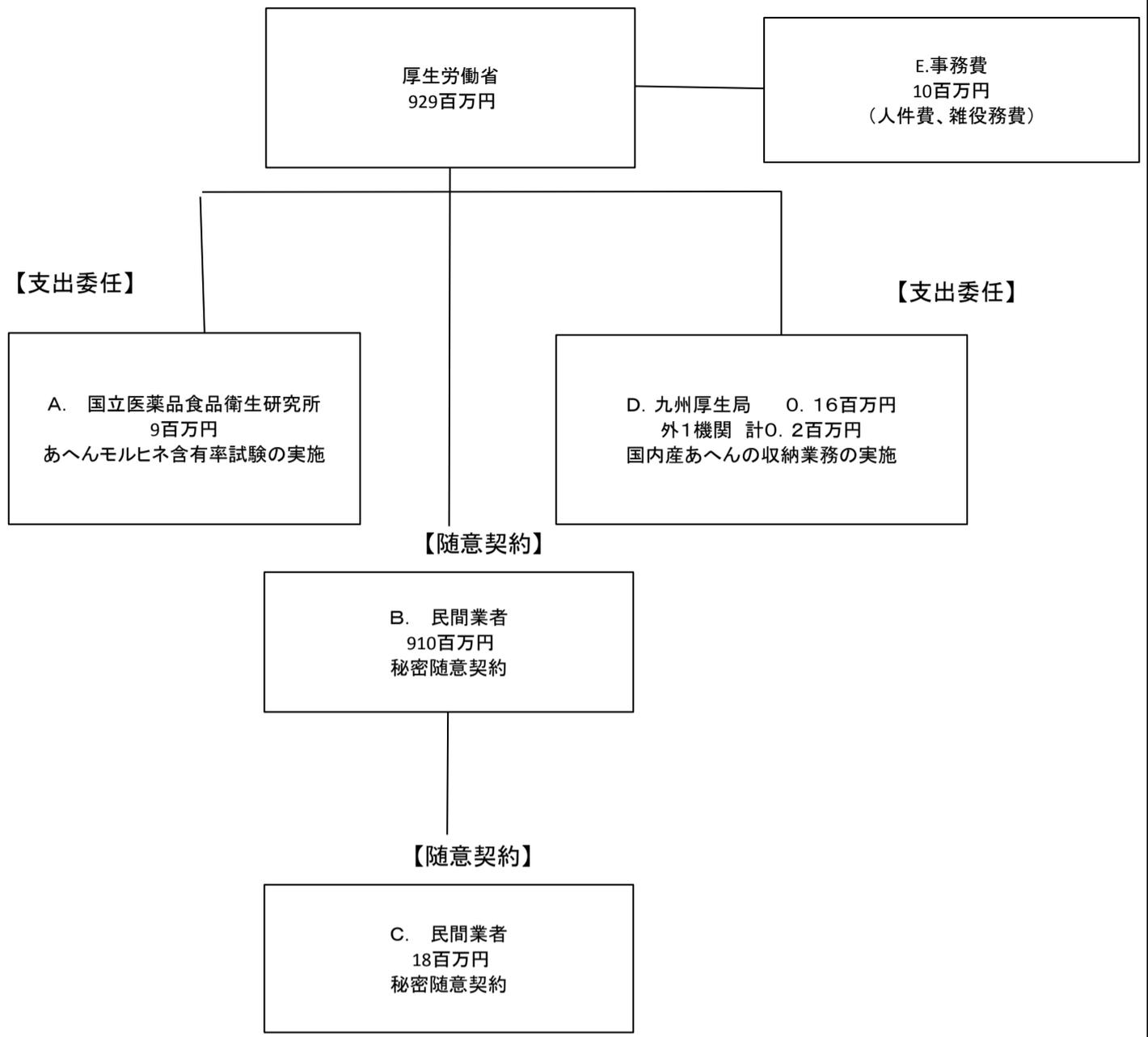
(厚生労働省)

事業名	あへん供給確保事業		担当部局庁	医薬食品局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和60年度 ※特別会計での事業であったが上記年度より一般会計に変更		担当課室	監視指導・麻薬対策課		課長 中井川 誠		
会計区分	一般会計		施策名	IV-4-3 麻薬・覚せい剤等の乱用を防止する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	あへん法第2条、第6条、第32条、第33条		関係する計画、通知等	がん対策推進基本計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医療及び学術研究の用に供する「あへん」の適正な供給を図るために必要な事業を行う。 (注)1961年の麻薬に関する単一条約は、あへんの海外からの購入・輸入等は国が独占するよう求めている。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	1. 医療上必要不可欠な医薬品の原料である「あへん」を、国内の需要・供給量を踏まえ、インド政府及び国内のけし耕作者より購入し保管する。 2. あへんの国内価格を決定するため、インド政府から購入した「あへん」のモルヒネ含有率試験を実施する。 3. 国内産あへんの収納業務及び災害補償業務を実施する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	930	1097	1057	945	984	
		補正予算			△71			
		繰越し等						
		計	930	1097	986	945	984	
	執行額	895	971	929				
	執行率(%)	96%	89%	94%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)
	必要見込みに基づくあへん確保量		成果実績	kg	91,380	132,000	128,400	118,070
			達成度	%	100	100	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	国内産あへん及び外国産あへんのモルヒネ含有率試験		活動実績 (当初見込み)	件	88	120 (120)	115 (115)	- (106)
単位当たりコスト	7,235(円/kg)		算出根拠	執行額/あへん確保量				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	あへん需給調査旅費	2.0	2	国内の医療用麻薬製造業者の必要見込み量が増加したことに伴う増				
	あへん等取扱業務庁費	18.9	18.8					
	各所修繕	0.2	0.2					
	あへん購入費	923.8	962.4					
	けし耕作者災害補償費	0.2	0.2					
	計	945.1	983.6					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	医療上必要不可欠なモルヒネやリン酸コデインなどの医薬品の原料であるあへんの必要量を確保するため、優先度の高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	あへん法に基づき、国が輸入等を行うこととなっている。
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	あへんの購入については秘密随意契約を締結し、その他の支出については適切に支出先を選定している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	輸入業務代行料については、各種データを精査し、見直しを図っている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	あへんは医療上必要な医薬品の原料である一方、取扱いに特に注意を必要とするため、輸入業務代行については予算決算及び会計令第99条に基づく契約としている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	経費の大半があへん購入費であり、適正に執行されている。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	あへんは医療上必要な医薬品の原料となることから、その試験についても国が実施すべきであり、最も実効性の高い事業となっている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	成果目標は必要見込み量に基づき設定したものであり、着実に達成している。
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	必要見込み量を確保しており、着実に達成している。
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	※類似事業名とその所管部局・府省名	
○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	確保したあへんについては麻薬製造業者に売払い、医療上必要不可欠な医薬品の原料として活用されている。	
点検結果	国内で必須の医療用麻薬の原料を供給するための経費であり、需要供給を踏まえた購入量となっていることから、大幅な見直しは困難。しかしながら、民間事業者の輸入業務代行料について、平成10～21年度までは一定率で固定されていたものを、各種のデータを精査し、平成22年度において引き下げを行った。今後とも、各種データを精査し、可能な範囲で引き下げる方向で見直していきたい。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	本事業は、医療及び学術研究用のあへんの供給の適正化に必要な経費であるが、事業の必要性及び執行の観点からは概ね妥当であり、引き続き効率的な執行に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-	-		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	344	平成23年行政事業レビュー	312

○あへん供給確保費

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)



<b>費目・使途</b> (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A. 国立医薬品食品衛生研究所			C. 民間業者		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	備品費	研究機器購入費	3	運搬費	国内運送費	18
	雑役務費	研究補助人材派遣	3			
	その他	光熱水料、賃金、消耗品費	3			
	計		9	計		18
	B. 民間業者			E. 資金前途官吏		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	原材料費	あへん購入費	781	人件費	非常勤職員賃金	7
	運搬費	航空輸送費、輸送保険料	73			
	その他	人件費、旅費交通費等	38			
	委託費	国内運送費	18			
計		910	計		7	

### 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立医薬品食品衛生研究所	あへんモルヒネ含有率試験の実施	9		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	民間業者	秘密随意契約	910	秘密随意契約	

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	民間業者	秘密随意契約	18	秘密随意契約	

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	九州厚生局	国内産あへの収納業務	0.16		
2	北海道厚生局		0.02		

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	資金前途官吏	非常勤職員賃金	7		
2	セコム(株)	施設保全業務委託費等	1	随意契約	
3	個人A	職員旅費	0.8		
4	新東産業(株)	清掃業務等	0.4	随意契約	
5	東京電力(株)	電気料金	0.3		
6	第一法規出版(株)	システム利用料	0.1	随意契約	
7	NTT	電話料金	0.1		
8	個人B	職員旅費	0.1		
9	日植アグリ(株)	消耗品	0.1	随意契約	
10	サンワ(株)	消耗品	0.1	随意契約	